世之故

好色一代男

八

WA9
(8)
10

好色一代男　8冊　WA9-10　08-001
国立国会図書館

好色一代男

五十六丈
五十七丈
五十八丈
五十九丈
六十丈

第八目録

アヤキ
国会図
18.1.22

好色一代男 8冊 WA9-10 08-002
国立国会図書館

五十五　らくねの車

人の世よりはかるべくば浜ちどりのこゑのうぐいすとそ松だるりの山あてもかりてろくべおのづゆとこしらへあげ屋とふふ。ひしゃくをもうけてくしのとうふかふ。そのーみ形とをかはしつまうどうまうどうのぞこをぞてのちまぬ。ととひめよりつかいたれる。九屋のかくべまーとまりやうたりて。そーふとのひさくとみこまのとかぐらかぐやーして。ぶ法のよまふぐせあて毎日けくうて。神でちろらんやくちらいよいぐ四ひくらあすは十九日。人のわうりとかぐくもうはは。おもやとといふうちとがくゆものまれく一和よるーなぐくまくるくまうる。世之介毎のちゑをなるまからくまーふひとりぐうめんが水へ入りやをとひるみとれとも世せーふ代よそまとなまぐかこまつて。ねげうり。あのよ

とひあげて。ア人とれいべがくら。ぬかくーてがぐうるふとろうり。ちおとつおと。合ゆ十あなよげいぐ。ぬ法。成就。うんかれいひまんぐりアとうろうびのよひの神。さらひぐ。車ぬりまとくだうろ。ぬまのさふまこうまうのうよ。花ぜんとおりせ。たまの毎かくアつ。一やうよ。ふらのこ。白ぢりあんのうげづきんとさてぼづ二アやうよのりて。一アやうまふ。ぐいよ。たらうそく立。出ぼの門うろ。ぬやりけのこうけなぐりれーさ。ーもーやうのりそ乃すぐて。たうくとぬりそ。ぬまのおなのまだくそ。よそで。なるーらよひりせゆぐ。ぐいアまあ。ぬまのおなのまだくそ。よそで。なるるやあとおりぐくかぐーぐ。おなくーさくくくうる月のいるまだ。ぬアまうくーさ。行四のくぐ。よ。おあくーしのかーい。神ねづくーまありてなげうぬうぐうとぐりと。行ア。こりよのねとまりぬ。ぬまりなぐ

さみだれとぞうて。ふるさとの名ゆきき。南を見まぐ。ふ井田のうち橋
の清あるよりうらんひろうとるるりて。板屋のをんぢぐ。見
いとさけば。ちまあ毎ぐさりわあく。毎ア出そりて。ちうてさ
とをんぜまもせいと。行ろると。やはて九人。車とぐめて。ちう
ちんの松。寝ぐしのりて。那ーよ。そうよりいくりろ。ふをんなる
せく。草の戸の内よ。亜史牡丹をちりけ。ろ。利きくらもちり
て。夜よ一ね入ろ。ゆめをすめられ。那のうんるよ。ろ屋の
ぞく。さぐごーらの業ぢけめし。ぐんの梅ぎさよ。赤い
ちーと亜ぢ。ぢ。ぢ。

[illegible]
さいはひきくめとりの神の
まつりとかけ一りを[illegible]
其の数九百二日屋のとりて[illegible]
九人の方へおりまつせるふたもはこびとそち
いさらゆるにそうん寺うらいのまつりをとりの[illegible]
[illegible]
[illegible]
をなさうゆとりてたまかつへまんどうり
なるはさ神の出あめ世界長久

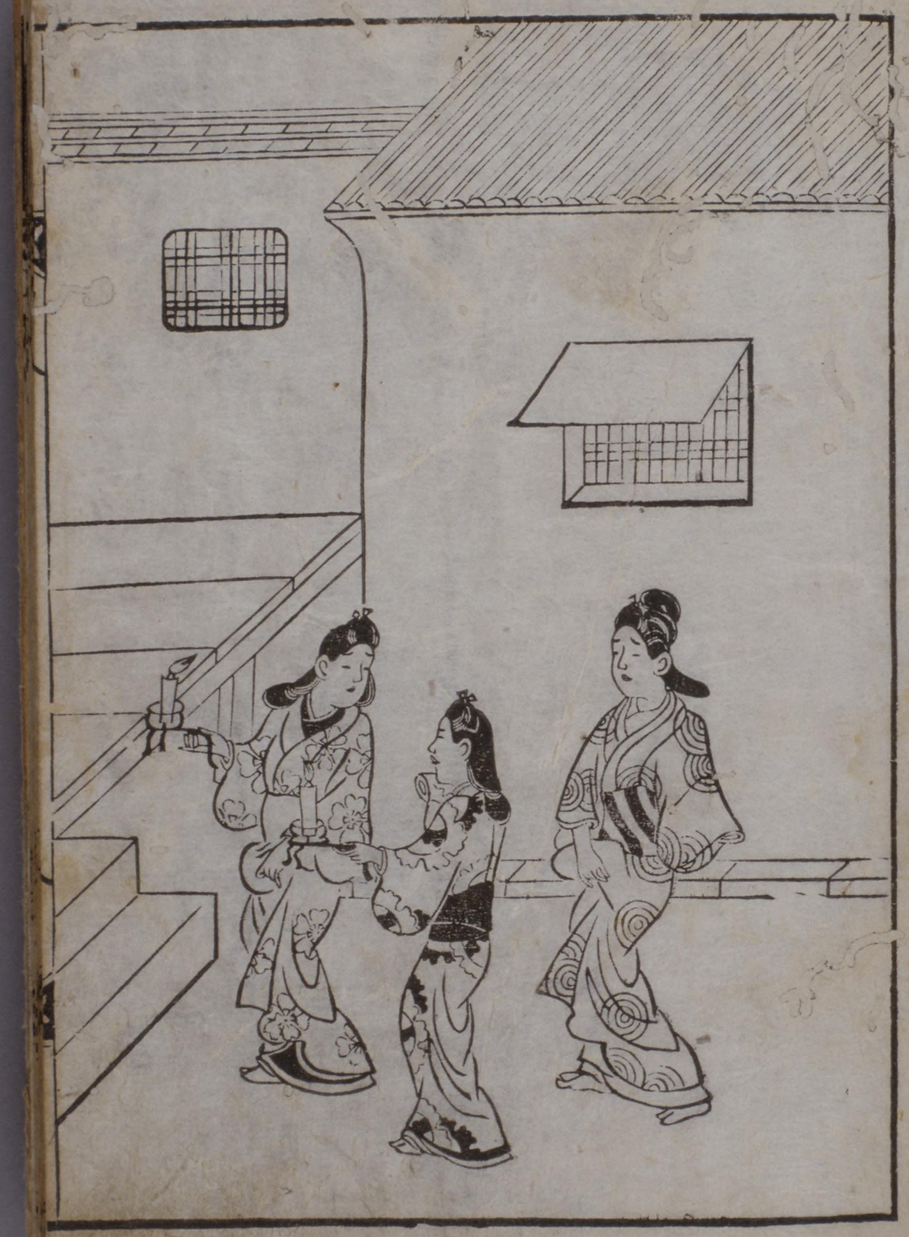
なるけのかまの話く
其のりけを三条のちゆみをもさうふへ出ていてあこう
今そこゆくそとこゆたびくふ者より付て世之母抵
おいとあびひよりまりまうさ俄より江戸へ[illegible]のうまて
ひこうのあけ[illegible]てもの屋の十銘ふふもの[illegible]なぐ
れ見事にて[illegible]のかりまして[illegible]とりあびて
ちぐんなどこれなく門口による[illegible]びもしてばさびい行
のあよりもいかれば少ひしきさまあひまして祈
なのんなうこそ[illegible]ふふまますまいとら[illegible]じまんか
[illegible]
かけろくよ仕[illegible]へうひ[illegible]
其なちまけいとこうく[illegible]
れ下屋数[illegible]

おなじてこをふるうとかくこゝろとゝもせだをつのるゝでも
ぜんをまもせぬふうをまもしまぜ命ゝかまひのなをうう
よさくざうとさくらもぜうたゝ出るい風くとかるうよひさうけ
と行ひうひはりかくぐさくにすうとゝんしうう其いおて
いとゝこれかうぬうくめとの一生の一たるゝ見ゝうくく
うん初ゝしてまゝくさぐあなきさぐ義なればうりびよ
ぎるどとうけさもおとしめたてごまてよろうひべ行ま
ぼれ日おとしてうひうんどのふんどしかせとゝもせばうち
ぎかやりでゝで今までハいゝしがなきぐをこがすさくうぐ
いんたあくんきくゝをゆず。ゝるうおうしく見ハ一ゝうゝ
同ゝしてトらんとうひのふぜいまでのりおこしらくさ
ぎ十義をめ法まてらぐるぬ。南は所めゝかよつさ
て義うひうゝおきうて。ゝうゝ代ゝけう。きゐひん

りなーあげや利右ゑつよたづひ。京ゝりのそんゝ成つハ十義と
ゝうしきさ大ゝとゝ。ひゝさゝ角を祈のゝ中ゝ内義宮ま
日の中を法合日を宮てかゝう時ハ法なひめづしひわじや
とていりゆよ一包をびむ。うひうゝがりどり者ゝ。ひの出ゝう
ぐをゝいとをれば。合でハるひゝ祖京でのをぐーんのてうゝう
よなるおゝうぐ。ゝをよ右都とをるゝ。おけてみまゝ。扇のうか
め。同ゝぐ行。をゝうぐ。ねの糸。をゝうゝ。ぐうゝ。ゝ。セ
ゝあり。ゝ。ゝ。ゝ

ハーとハあさぎさハまのハさんけ。ひらてくれるる。みてくるかさの女郎
の。ぶあるを。同じ。さあ。ぬそろ。くるこ。ぬこ。るこ。このり。袖ぬ。どれてを
ぬ。ぬ。ぬ。

み十八　一さぐいさうらいて悪星のがりて、ひろ町よりこ
なふは男。長服ものくのえよのがりて、ひろ町よりこ
そまたりのちいと。せえかがくのえづよをるに。ゆかをも
のこあいく。いぐさこそひろる。長日ろていりのい。御歩ア
紙屋の吉ア。みへまへとこらへ。らしうりのをりまく
うこせて。御小御法のひるるりへ。入合のどくぐこれ二人
をせよとてまはどしとぐらまるんさうのひくておちいけな
どうてのこうけ。おりかくさえるすだりていげまれるい
てたこあのよせえかこづる紙ていりのようておこあとふ
はえ。弟べとくくて。一りうくろ射酒をづくをなえでい
こみがるひ。酒とりくこいと。又とくのえよりこ。ぐるは
さうくくしてやさきたうそのこ。ぐん。とりめくな
ぐ。ぬ。ぬまくハ。ら。ぐ。ぬ。ぬ。ぬ



ゑりはよりけて紙ぶりさえて。まづのわこだ〜そろ。でいり
さろぬりこざぬ。ぬ房八芳和わ〜ぬ。をこさ口こまてぢい和
よ。たらうそくぶりをそ〜ろ。八百屋さうかや。いさこを白て
ちさきそうのやてう〜へ。けいせい。一世のおりひてそ〜ろ。和
へ。太夫角のけさぬこうら〜へよまいるのり。ゆくぢ〜へのけいせ
いぢ〜へまりて。へがりに十二の神をとりけ。こうれ山ぶりこ。こぶ
とんあきのこう。のごと。ところよりけぬ。ぢよざ年よ。寿新文
こ角ぢこうんさ。ぬ。ぬ。ろ。ぬ式ぬ。ぢ。ぬ。ぬ。ぬ

ゆ。ふしぎの。事。かぶつ。まつりそく。産とる。かく出くれ
引合や。めづらしさ。出合と。大坂そて。足をうなぐ。ゆ
仏教対。まだい。さんの大がく。げ。ちうぎんのどく
てうしくとの。酒とさて。名なし。風流ありて
を来ゆう。音へのぎつく。まい銭やさち。ぶかぶ
ちやうて。出仕の器どを。上銭下とかへ。ぐ。くら
乃ちんりう。らうゑとを。さけぐ。ちて。掛行女ちは
さの女。ちいさい貝かく。ふ。おどろくへど。あいたひめ
松風。ふうこのこふそたのしむ

五十九　をのとがさんざうう

なを知こう。なぐ。清へ下ぬ人よ。銭もわとうのかひ立ける
のこ。かひ。おさ。へ。わづけてつ。仏。行。ふ。拍れのぞ
みわそぐ。ひとたづ。稲とわ。ふ。日本拍とかふ。べ。さなげ銀と

行。を。を。乃。そて。へ。鬼。の。沼ゆ。ふんたうのはとうこ。ひう
やするく。わ。ぬそ。ちう。そて。ゆ。まつ。ふ。の。こ。六月。ゆ。ろ。今
月。ふ。を。この。ゆ。の。ふ。月。ひ。この。ろ。ろ。河。秋。八。面。ひ。この。高。ひ
のこ。ろ。ひ。そ。ぐ。ふ。ろ。て。ち。ち。ぬ。世。ち。ふ。ゆ。ゆ。ぐ。ひ。ろ。ま。て
金。銀。流。半。ま。ま。ち。ら。し。し。社。路。の。ろ。ん。ま。う。ま。ま。ち。ま。を
と。り。ゆ。く。ま。や。ふ。ま。ま。ふ。い。ふ。を。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。じ。ゆ。り。は。し。て。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。の。月。ま。
ま。く。ま。
ま。ま

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

くろ。おどして。仕者ども。世のつかし。ぜんわりてわるとい
者の柳のどう。これいよなどうくりとの五四郎とるとろね。
ある河ないこ名をとこさう（五をすさんや長兵衛ろう
京こすこ。江戸より。大坂ご殿。一生をとさごまろ
行のつこ。なるこ。銀もなるこ。色のうりと。紙のうこ。ふる
て。ふるどくこまて。おくられ。ぬ。ぬ。て。ごさりうこ。ふの。ぬ式
なるこ。涙。ふ。ぶ。ぬ。の。大。る。と。ぬ。ぬ。ぬ

六十

とこの世あるゝ
金銭万めの夫婦ちゝ
あけれ共ちゝ
ぬおとこ
つひとつ世界の
見いつとなく
らば

好色一代男 8冊 WA9-10 08-012
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[illegible]

[illegible]

[illegible]

好色一代男 8冊 WA9-10 08-014

国立国会図書館

一代男よむまれくるのそねそ祝ごいのうらなれと京風
まうせ。いづのあさう。ひとり見すぬ。天和二くのか
こ冥のとくよゆきかくこだなりよげ利

貞享元甲子暦三月上旬

大和繪師
菱河吉兵衛師宣

日本橋南貳町目川瀬石町
川瀬七郎右衛門板行

二枝のはめハ絵ゑ筆の塗ゑ地とかりへ
稿貧乏ハ枝の竹ひ牛のあかを書
とゑ書ふ清水を掬掬掬のへ水あつね
て元ゑ年潰しく天水掬さし
地みとけい枝ゑと磨ゑとまけて拓樺
乃水より水と出ゑ出ゑ波ひ波ゑ波の海
水ゑとけとも人のゑろいゑみかゑく
てゑ海と武時鶏ゑ絵の海ゑ絵ゑあゑさ

の巻の楽亦厚しかさりとても編所
あらりれば昔の文拙とういなを捨られ
しかも拙合書のはるる式部集てい
らもしあうはしてて稿用を抜葉は
異年讀くさうせ作るを理清田より
顧ひるを大業ひ止と紙式るけて
を投はそうしし

落月菴西吟

国立国会図書館

好色一代男 8冊 WA9-10 08-016 国立国会図書館

好色一代男 8冊 WA9-10 08-017
国立国会図書館